

# くまがや 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

12月定例会  
平成22年2月1日発行

第18号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1111(内線412~416)  
E-mail gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/

妻沼聖天山は、縁結びの宮、「聖天さま」として親しまれています。現在、宝暦年間に造られた国指定の重要文化財・本殿の大規模改修工事が行われ、平成二十二年秋の完成予定となっています。その妻沼聖天山の境内にある平和の塔は、昭和三十三年、戦没英霊の供養と世界恒久平和達成の祈願によって建立されました。手前の赤い太鼓橋との対比も絶妙な、大変美しい総檜造りの多宝塔で、十一面観音を本尊としています。



早春の平和の塔 (第4回熊谷市観光写真コンクール入賞作品：撮影 対比地 連吉氏)

## 主な内容

- ☆12月定例会の概要・・・・・・・・・・・・・2
- ☆可決された主な議案・・・・・・・・・・・・・2
- ☆請願の審査結果・・・・・・・・・・・・・2
- ☆選挙管理委員会委員の選挙結果・・・・・・・・・2
- ☆一般質問(要旨)・・・・・・・・・・・・・3
- ☆関係機関に意見書を提出・・・・・・・・・・・・・8
- ☆委員会での主な質疑・・・・・・・・・・・・・8

議会インターネット中継は熊谷市議会ホームページから

熊谷市議会 検索

議会を傍聴しましょう。次の定例会は3月1日からの予定です。

熊谷市議会は「チーム・マイナス6%」に登録し温暖化防止に取り組んでいます。





# 平成21年12月 定例会

## 一般会計4億7139万8千円を補正 熊谷市建築審査会条例などを可決

平成二十一年十二月市議会定例会は、十二月三日から十二月二十二日までの二十日間を会期として開かれました。

この議会では、平成二十年度一般会計・特別会計・企業会計決算十件の認定をしたほか、「熊谷市建築審査会条例」などの市長提出議案十九件を審査し、十二件を原案可決、七件の人事案件に同意しました。また、議員提出議案一件を原案どおり可決しました。さらに、請願二件について審査しました。

### 十二月定例会の概要

初日（十二月三日）の本会議では、閉会中に各常任委員会で審査した、熊谷市の平成二十年度の各歳入歳出決算の審査結果が報告され、すべて認定しました。

そして、市長から「本市では、新型インフルエンザ予防対策として、十月の臨時会において、国県とともに実施する補助制度のほか、本市単独の補助制度をお認めいただき、市民の皆様の費用の軽減を図り、接種しやすい環境を整え、感染による重症化を防止するなどの対策を講じたところである。さらに、各学校等への加湿器の設置も完了した。しかし、感染予防対策で大切なことはやはり、手洗い・うがいの励行であり、マスクの着用などのせきエチケットであるので、市民の皆様には予防対策に努

めていただくよう引き続き働きかけてまいりたいと考えている。一般議案では、特定行政庁への移行に伴い、『熊谷市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例』や『熊谷市建築審査会条例』など十件を提案している。』旨が述べられました。

八日の本会議では、条例案や補正予算案に対する質疑が行われました。そして、各議案および請願が、所管の常任委員会に付託されたほか、熊谷市選挙管理委員会委員および同補充員の選挙が行われました。

九日には、総務文教常任委員会および福祉環境常任委員会において、また、十日には、市民産業常任委員会および都市建設常任委員会において、審付託された議案等について審

査が行われました。

十五日、十六日、十七日の三日間は、二十四人の議員による市政に関する一般質問を行ったほか、七件の人事案件に同意しました。

最終日（二十二日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決し、十二月定例会は閉会しました。

十二月議会では、次の請願を審査しました。

◇国に対し「非核日本宣言」を求める意見書の提出を求める請願  
(審査結果・不採択)

◇国に対して保育所の最低基準の維持を求める意見書の提出を求める請願  
(審査結果・継続審査)

十二月八日の本会議において、熊谷市選挙管理委員会委員および同補充員の選挙を行い、次の方が当選しました。

◇選挙管理委員会委員  
野原 晃 氏  
森田 美江氏  
芝崎 光利氏 野上 宏一氏  
福田 征芳氏 木村美知子氏

◇選挙管理委員会委員補充員  
小林 武夫氏 淺井 榮司氏  
高橋志津子氏 池田美智恵氏

◇熊谷市公平委員会委員の選任に同意  
林 武一 氏

### 可決された主な議案

◇平成二十一年度熊谷市一般会計補正予算(第四号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億七千三百九十九万八千円を追加し、歳入歳出それぞれ五百八十六億二百一十一万六千円とするものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意  
新島 養平氏  
奥崎 一枝氏  
飯島 潔 氏  
加賀崎公子氏

### 選挙管理委員会委員の選挙結果

十二月八日の本会議において、熊谷市選挙管理委員会委員および同補充員の選挙を行い、次の方が当選しました。

◇熊谷市教育委員会委員の任命に同意  
野原 晃 氏  
森田 美江氏

◇国に対し「非核日本宣言」を求める意見書の提出を求める請願  
(審査結果・不採択)

# 市政、ここが知りたい!

## 一般質問 (要旨)

12月定例会では、次の24人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の( )内は、主な所管課です。

### 二十一年度補正予算執行停止による本市への影響について

松本 富男 議員

**問** 二十一年度補正予算の見直しは、本市に与える影響について、伺いたい。

**答** 厚生労働大臣から通知があった「子育て応援特別手当」の執行停止に伴い、「わがまち子育て応援手当」は、国の手当を補完するための手当であることから、取りやめることとした。小中学校の地上デジタル対応チューナーの購入およびアンテナ設置工事に対する補助金の執行停止については、本体である地上デジタルテレビの購入に対する補助金の内示があったことから、デジタル放送の受信に支障がないよう停止された補助額五十三万七千円を一般財源で対応することとした。(財政課)

○その他の質問項目  
「内部統制について」ほか

### 熊谷スポーツ文化公園における調節池の活用について

三浦 和一 議員

**問** ①調節池に入り込むこととは、どのような違反になるのか②周辺で警察が急

に厳しく取り締まるようになった理由③調節池を現状のまままで市民の魚釣りなどの遊び場として、開放できないか④調節池の周りに、公園の一部として桜などの木を植えることはできないのか、それぞれ伺いたい。

**答** ①正当な理由なく立ち入りした場合、軽犯罪法違反となり、拘留や科料の対象となる。②日常の巡回パトロールなどにおいて違法行為を発見した際、適切に対処したものと考えている。③事故等の場合、自己責任だけでなく、管理者の責任も問われることになり、開放は困難とのことである。④植樹等による新たな空間利用は考えていないとのことである。(河川課)

### 学校教育と新型インフルエンザについて

新井 清次 議員

**問** ①小中学校の学級閉鎖の状況②学級閉鎖による授業時間の減少に伴う補習授業の対応について、それぞれ伺いたい。

○その他の質問項目  
「青少年に広がる薬物汚染の現状と対策について」ほか

**答** ①学級閉鎖による欠けた授業時間数は、市内小中学校の合計で、六月から八月までの三カ月間は無く、九月は二百四十二時間、十月は二千八百九十時間、十一月から十二月一日現在で、三千七百二十時間で、合計六千八百五十二時間である。②学級閉鎖への対応については、一日五時間のところを六時間授業を減らして教科の授業を行ったり、冬休みに授業を行ったりして、標準授業時数を確保するようにしている。現在、小中学校あわせて四千六十二時間の授業が確保される予定である。なお、インフルエンザにかかって欠席した児童生徒には、放課後などを使い、個別に対応している。(保健体育課)

### 大きな政治変化に伴う本市の財政状況について

杉田 茂実 議員

**問** ①国政の与える本市への具体的な影響について②自主財源創出につながる具体的施策はあるか③基金のあり方や活用方法は④予算編成過程における新規事業の取り扱い⑤都市経営の視点を予

算編成にどう生かせるかについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①一部、事業を取りやめることとし、今定例会において減額の予算を計上した。②今後も、自主財源の創出について可能性を検討していく。③基金については、特定の目的のため、積み立て、活用している。今後も、基金の活用により安定した財政運営が図られるよう努力をしていく。④担当課が作成する実業計画を検討し、採択された事業については財政状況を勘案したうえで、予算化する。⑤分権型社会にふさわしい自立的な財政運営に努めていく。(財政課)

### 本市における予防行政について

黒澤 三千夫 議員

**問** 最近、全国各地において、居酒屋やマージャン店などの火災が発生し、多くの尊い命が失われているが、①査察実施状況②居酒屋の状況③マージャン店等の火災防止対策について、それぞれ伺いたい。

○その他の質問項目  
「平成二十年度実施の農業実態調査結果とその活用について」

### 答

① 査察実施件数は、平成二十年度、熊谷市四百九十一件、行田市二百五十七件、深谷市二百五十九件、平成二十一年度は十一月三十日現在、熊谷市二百六十件、行田市二百四十四件、深谷市百五十五件である。② 本市内には十二月十一日現在、居酒屋が百七十二店舗あり、そのうち雑居ビル内の居酒屋は三十九店舗ある。③ 本年三月には社会福祉施設、七月にはパチンコ店、更に十一月にはマージャン店に対して特別査察を実施し、適切な防火管理体制を構築し、不測の事態に備えるよう、該当事業所に対して指導を行っている。

(予防課)

### ○その他の質問項目

「星川シンボルロードを活用した活性化方策について」

### 籠原駅周辺の開発について

山田 忠之 議員

### 問

① 籠原駅周辺における大型店舗出店打診の有無は② 南口側の駅周辺および商業地域内の駐車場の割合③ 南口駅前広場から続く歩行者専用道路の今後の活用方策④ 駅通り商業地域内の開発に對

する建築規制について、それぞれ伺いたい。

### 答

① これまで打診等は無かった。② 駅に近い籠原南一丁目地区内における駐車場は、面積で約三・八ヘクタール、十九%の割合である。③ 今後、地域住民の交流の場、コミュニティづくりの空間として活用されていくことを期待している。④ 駅北側の商業地域における店舗以外の建物に対する規制については、都市計画法に基づく地区計画の手法が考えられるが、事前に地区内の関係者の合意形成が不可欠であるので、地域において、十分な話し合いが重要と考えている。

(都市計画課)

### ○その他の質問項目

「教育委員会の対応と課題について」

### 利根川新橋の現況と見通し

小林 甚一 議員

### 問

① 利根川新橋の見通し② 北関東自動車道開通で東毛地区と埼玉、東京の経済効果③ 埼玉県、群馬県での調査費計上④ 熊谷駅へのアクセス改善について、それぞれ伺いたい。

### 答

① 関係市町村と要望活動を実施した結果として、本年、群馬県から十年以内に事業着手する計画が発表された。② 物流のスピードアップによる経済効果、観光の活性化、医療面の連携強化などが期待され、首都圏にも大きな効果をもたらすものとされている。③ 平成十五年度には「群馬埼玉地域連携道路ネットワーク」が発足し、両県による調査事業が開始され、今年度で七年目に入った。④ 新橋整備による大幅な時間短縮は本市の活性化にも一定の効果をもたらすものと考えている。

(企画課)

### ○その他の質問項目

「熊谷市市有地公売について」

### 公立保育所の土曜保育の今後の見通しについて

大山 美智子 議員

### 問

最近、保育所の問題がマスコミで大きく取り上げられ、今議会にも「国に対して保育所の最低基準の維持を求める意見書の提出を求める請願」が出されている。民間の保育園は土曜日の延長保育を行っているが、公立保育所の土曜保育の今後の見通しについて、伺いたい。

### 答

公立保育所の保育内容についても、変化する保育ニーズを的確にとらえ、充実を図っていくかなければならない。この度、近年の就労形態の多様化に比べ、午後二時半まで実施している土曜日の保育を、平成二十二年一月から、午後五時までとすることとした。すでに、希望者の把握、保育体制の構築など、諸準備が整った。さらに今後



花を植える園児(上須戸保育所)

### 公害防止対策の強化について

高橋 初 議員

### 問

① 今年三月議会で質問した上須戸市内の樹脂加工工場から発生する騒音公害は、質問して十カ月経過したが、改善したのかどうか② この間、市民生活に多大な影響を与えた法に違反している状況は何件解決し、引き続き指導している案件は何件か③ 公害防止のために改善すべき点は何か、それぞれ伺いたい。

### 答

善計画書が提出された。現在、騒音防止対策を完了させるための工事を実施している状況であり、完了を待って騒音防止対策効果の検証を行っていく。② 平成二十年度末現在、同様な騒音、悪臭違反について指導を行っている事案は、悪臭一件、騒音六件であり、解決したものが二件、改善対策が完了したものが二件、改善工事を実施中のものが一件、継続的に指導を要するものが二件である。③ 工場誘致や開発などに関わる部署や機関との連携を図り、適切な時期に公害防止協定の締結等を行うことにより、事業者

の公害防止意識の高揚を図っていきたくと考えている。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「熊谷駅前広場の改修について」ほか

### 農家への直接的支援の拡大を

桜井 くるみ 議員

深谷、行田市などの近隣市では土地改良区の適正化事業に補助が出ているが、本市でも出せないか。また、平成十七年施行の土地改良事業補助金交付要綱には五年後には検討するとの案があるが、どうか、伺いたい。

### 答

土地改良区が行う維持管理は、土地改良法に基づき、各土地改良区が経費の分担を定款で定め、受益者からの賦課金で賄っている。土地改良施設維持管理適正化事業については、各土地改良区が特別徴収金を充てることを総会等で議決を経て、計画的に事業を実施していることから、厳しい財政状況等を勘案すると新たな市単独補助は困難と考えている。また、この補助金交付要綱は、平成十七年十月、一市二町の合併時に三つの交付要綱を統合して制

定し、五年を経過した後、補助制度について必要に応じ見直しを行うよう制定されたものだが、現時点では見直しの考えはない。

(農地整備課)

○その他の質問項目

「公共交通会議と市内循環バス」ほか

今年も、派遣切り、雇止めで生活困窮者が増えることが予想されますが、本市の失業・生活困窮時の緊急支援強化について

### 問

林 真佐子 議員

年末年始は、市役所だけでなく、多くの公的機関、金融機関は休みとなるが、緊急相談は「まったなし」である。緊急相談窓口を年末年始も開き、生活困窮者への援助を滞りなくできるようにすべきと考えるがいかがか。

### 答

福祉資金貸付を含めた年末年始の緊急相談窓口の設置については、ハローワークにおいて、雇用・住居・生活支援の相談を一つの窓口で行えるワンストップサービスの実施を管内の自治体や社会福祉協議会と、年末年始の休業前に、実施する方向で進めている。その中で社会福祉協議会が行う福祉資金貸付の

相談についても行っていく考えである。

(福祉課)

○その他の質問項目

「後期高齢者医療制度の廃止を求めていくことについて」ほか

### 下水道雨水幹線整備について

新井 昭安 議員

荒川第二雨水幹線の整備状況および事業の継続について、伺いたい。

### 答

平成三年度から放流先交通省と協議を重ねてきた。国土交通省と協議を重ねてきた。工事は平成七年度から平成十六年度まで実施し、放流先から熊谷商業高校付近まで完了している。この幹線については、多くの事業費を要することから、現在、計画条件の見直しによる、管口径の規模縮小などコスト削減に向けた検討を行っており、事業効果を見極めながら整備方法を検討していく。また、近年、予測を超える局地的集中豪雨が多発している状況にもあり、雨水対策の重要性は十分認識している。この事業についても継続して検討を進めていく。(下水道課)

### ゴミ収集業務委託について

笠原 秀雄 議員

①現状で委託一〇〇%にした場合の経費削減額は②一〇〇%委託実現に向けた市の見解について、それぞれ伺いたい。

### 答

①現在の状況で委託五十五%を一〇〇%にした場合の経費削減額は約一億二千二百九十万円である。②

これまで行政改革推進委員会の答申に基づき民間委託の推進を図るべく、検討を行った結果、本年四月から妻沼地域を全面委託とし、委託率五十五%となった。本市としては直営と委託が互いに競争意識を持ちながら切磋琢磨することにより良好な市民サービスが維持できると考えており、当面、この割合を維持し将来的には見直しを考えていきたい。(環境美化センター)

### 南運動場(市営球場)について

大久保 照夫 議員

南運動場を多目的広場の公園にするとのことだが、今後は南運動場に替わ

り安心して野球のできる施設整備について、伺いたい。



解体工事が進む南運動場

### 答

野球場の代替施設と使用方法については、熊谷さくら運動公園の自由広場や野球場、荒川緑地グラウンドの整備を計画的に進めるとともに、施設の年間利用計画についても、事前に関係団体と協議を行い、使用回数に一定の基準を設け、各施設を利用できるように努めていきたい。また、熊谷さくら運動公園の自由広場の整備として、少年野球の練習に支障の無いように防球ネットやバックネットを設け、一部グラウンドの整備を行っていく。(公園緑地課)

○その他の質問項目

「新たな観光施策について」

第二北大通線について

泉 二一良 議員

問 ①第一期整備区間の進捗状況と今後の予定②第一期整備区間の残りの地権者数と買収面積③第二期整備区間の整備予定について、それぞれ伺いたい。

答

メモリアル彩雲の南から東武熊谷線跡地までを第一期整備区間、さらに国道四〇七号までを第二期整備区間としており、①第一期整備区間は平成十九年度から用地買収に着手し、現在、用地買収率は約四十八%である。今年度から下水道工事に着手しており、来年度からは一部区間の道路工事に着手したいと考えている。今後は、東武熊谷線跡地および大幡中学校北側の市道を経由し、国道四〇七号へ接続するルートでの暫定供用を計画している。②地権者数は九人で、買収面積は三千六百三十平方メートルとなっている。③第一期整備区間の進捗状況を見ながら、事業化を図っていききたい。

○その他の質問項目 「市長の政治姿勢について」

熊谷市の行政において県下もしくは関東で統計上、上位に位置する事項、下位に位置する事項にどんなものがあるか

新井 宏 議員

問

熊知事の話によると、良い点、悪い点を把握していないければ、改善や伸ばすべき施策が判明しないとのことである。本市の実態について伺いたい。



市庁舎

答

県内七十市町村における上位五位以内にある主な項目は、市の総面積五位、総面積から林野等を差し引いた可住地面積二位、農業産出額二位、製造品出荷額等四位、年間商品販売額三位、他市町村からの通勤者五位、道路実延長および都市公園面積二位などがある。一方、比較的下位に位置する項目は、水洗化率が五十一位、交通事故発生

件数七位などがある。上位の項目は今後も維持できるように努力を重ね、下位の項目は向上に取り組みながら、上位項目を生かし都市の魅力として発信していきたい。

(企画課)

食と農を活かしたまちづくりについて

その二

大嶋 和 浩 議員

問

学校給食で地元農産物の使用をさらに進めることはできないか。できないとすれば課題・ハードルは何か伺いたい。

答

学校給食施設のうち、最も購入量が多い熊谷学校給食センターで購入する野菜のうち、埼玉県産の比率が比較的高いものとしては、にんじん、キャベツ、長ネギがある。反対にほとんどが他県産のものは、じゃがいも、たまねぎがある。じゃがいも、たまねぎは学校給食で最も多く使用する野菜であり、これらを、地元産を中心に年間を通して安定的に調達することが課題となっている。

○その他の質問項目 「行財政改革について その九」

熊谷の子どもたちの教育について

富岡 信吾 議員

問

①本市の生徒指導の現状と課題、および具体的な取り組み②規範意識の育成を目指した本市の取り組み③文部科学省が行った情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究の成果を取り入れた取り組みについて、それぞれ伺いたい。

答

①全体の暴力行為やいじめ等のいわゆる問題行動は減少傾向にあるが、未然防止や早期解決に向けてのより迅速な対応が課題である。各学校では、常に事あれば全員の先生方が動くといった体制を整えている。②道徳の間はもとより全教育活動の中で、規律ある態度の育成に取り組んでいる。③研究の成果として、基本的な生活習慣の確立や愛着形成が重要であり、学校や家庭、地域社会の大人の皆さんに手本になっていた、生きる力そのものである「熊谷の子どもたちはこれができます。」の四つの実践を引き続き取り組んでいきたい。

○その他の質問項目 (学校教育課)

「熊谷のスポーツ環境の充実整備と普及・振興について」

旧熊谷市内公民館の建て替えについて

磯崎 修 議員

問

①旧熊谷市の公民館が他の地域に比べて建物が古い理由②旧熊谷市の公民館の建て替え整備計画について、それぞれ伺いたい。

答

①熊谷地域では、昭和四十年代から五十年代にかけて、公民館建設が計画的に行われた一方、大里、妻沼、江南地域の公民館の多くは、コミュニティセンターや文化会館等との複合施設として、昭和五十年代後半以降に建て替えが行われたことから、建築の経過年数に違いが生じている。②今後の熊谷地域の公民館施設整備については、現在の財政状況を考慮すると、学校教育施設の耐震化工事等に多額の費用を要するため、公民館の建て替えの計画を策定することは困難と考えているが、公民館における学習環境の向上を図るため、適宜、施設の修繕に取り組みとともに必要に応じた改修を実施し、施設の保全に努めていく。

(社会教育課)

○その他の質問項目  
「公立幼稚園の今後について」

**市民相談の中から(ジェネリック医薬品の推進について)**

谷 幸代 議員

市民にジェネリック医薬品希望カードを作成し発行できないか、市の見解を伺いたい。

**答** 平成十九年市報七月号で、ジェネリック医薬品(後発医薬品)についてお知らせしているが、ジェネリック医薬品は、本人の医療費の自己負担額の軽減や、保険者の医療費の削減等につながる

ことが期待される。一方、薬の種類によっては、その効果や効果等について課題があると言われている。市民に対し、ジェネリック医薬品希望カードを作成し、発行できないかということについては、各保険者の考え方や関係機関との協議も必要となるので、今後、国の動向を注視しながら対応を検討していきたいと考えている。

(健康づくり課)  
○その他の質問項目

「福祉行政について(救急医療情報キットの配布について)」ほか

**熊谷市における農業施策について**

新井 正夫 議員

**問** ①本市の主な農業施策は②産業祭の人出・出店場所・会場について、それぞれ伺いたい。

**答** ①本市の主な農業施策には、転作作物の拡大を推進する水田農業構造改革事業、地産地消を推進する産地づくり対策事業、認定農業者等の担い手を育成する担い手育成支援事業などがある。

②産業祭は毎年、二日間で六万人の人出がある。今年度は、『熊谷小麦まつり』による混雑が予想されたため、毎年、長い列ができる参加団体の出店場所を移動するなど、混雑解消の措置を取った。そのため、前年と出店場所が変わった参加団体もあった。会場は農産物共進会が開催可能であることや広い駐車場と出店場所が確保できる熊谷スポーツ文化公園で、合併以来、開催している。市街地での開催については、農産物の陳列場所確保の課題が解消できれば、大変、有意義なものであると考えている。

(農業振興課)

**二〇一九年ラグビーワールドカップ日本開催に向けてラグビータウン熊谷市の対応について**

松浦 紀一 議員

**問** ラグビーワールドカップ日本開催について、市長の所感を伺いたい。



**答** オリンピックやサッカーワールドカップに匹敵するビッグイベントであるラグビーワールドカップが、二〇一九年に日本で開催されることは、誠に喜ばしいことである。世界の強豪チームの試合を国内で観戦でき、ラグビーの魅力に触れる素晴らしい機会であり、青少年に大きな夢や希望を与えてくれる。また、ラグビータウン熊谷としても昨年から日本代表が定期的に、県営熊谷ラグビー場

でベースキャンプを行い高い評価を得ていることから、何らかの形で、ワールドカップ開催に関わり熊谷市を世界に発信する絶好の機会にしたい。(保健体育課)

○その他の質問項目  
「住民票・印鑑証明等のコンビニ交付について」ほか

**合併後の施策整合状況と四年間の総括**

滝沢 肇 議員

**問** 新熊谷市発足後、四年間の市長の総括的見解を伺いたい。

二度の合併による二十万都市実現とともに市民の融和を図りながら本市の土台づくりに全力を挙げてきた。特例市への移行を果たせたことは、本市の長い歴史においても大きな前進である。自治基本条例の制定や総合振興計画の策定により、広く市民の参画をいただき将来ビジョンに向けた方向性が示されたことは、本市発展の礎作りとなった。また、合併によるスケールメリットを生かしながら行財政改革を推進し、市債は、約百十八億円の減少、人件費は、百九十人を超える職員減による約二十三億円の削減等により、自治体としての体力アップが図られた。(企画課)

○その他の質問項目  
「改正農地法」ほか  
**グリーンツーリズムについて**  
栗原 健昇 議員  
**問** グリーンツーリズムをどのようにとらえているか伺いたい。  
**答** グリーンツーリズムは、農山漁村地域が持つ多彩な地域資源を活用し、農山漁村に暮らす人々と、都市に暮らす人々の交流を行うもので、地域の活性化に大きく寄与するものである。そこでの自然活動や農業体験等は、地域の中でのふれあいを重視したスタイルで行われ、より深く大きな感動を得られる。本市には、里山に象徴される自然豊かな農村風景や人々の営み、特色ある農産物、歴史と伝統に裏付けられた祭りや貴重な文化遺産がある。こうした魅力的な地域資源を複合的に活用し、多様化する個人のニーズや価値観等に対応した「熊谷型グリーンツーリズム」を進めていきたい。(商業観光課)

関係機関に意見書を提出

十二月定例会では、次の意見書を議員提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。その概要をご紹介します。
◇改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

今般設置された消費者庁の所管ないし共管となる地方消費者行政の充実及び多重債務問題が喫緊の課題であることも踏まえ、国に対し、次の施策を求める。

- 一 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
二 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人員費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
三 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
四 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

平成二十二年二月一日発行

委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

一般会計補正予算

(教育費) について

問 育英資金貸付事業で、基金の活用状況について伺いたい。

答

今年度の貸付状況は、新規の高校生が六名、大学生が二十三名に対し、合計九十九万円、前年以前からの継続の高校生が四名、大学生五十一名に対し、合計八百九十六万円である。合計高校生十名、大学生七十四名に対して、総額二千八百五万円を貸し付けている。



福祉環境常任委員会

一般会計補正予算

(民生費) について

問

「経済危機対策」わがまち子育て応援手当支給事業の二億一千万円は、熊谷市が、九月議会の補正で、国の「子育て応援特別手当」

とともに、市独自の事業ということで提案したもののだが、減額になった理由と市民への対応について伺いたい。

答

国の「子育て応援特別手当」が、執行停止されたことに伴い、この手当を補完する「わがまち子育て応援手当」の執行停止をさせていただいた。また、市民への周知については、市報十二月号およびホームページでお知らせさせていただいた。

市民産業常任委員会

一般会計補正予算

(衛生費) について

問

新型インフルエンザの感染拡大による関係費用ということで医薬材料等の購入や謝金が計上されている。休日、夜間の来院患者が非常に多かったと思われるが、その状況について、伺いたい。

答

主に九月頃から新型インフルエンザの患者数が増加し、一番多い時では、十一月の休日昼間の百七十三人、また、夜間の診察時間内では九十七人の患者数であった。通常では、夜間患者九十七人が、平均的な休日昼間の患者数であり、それをはるかに上回る患者が来院したことになる。

に上回る患者が来院したことになる。(所管課・休日・夜間急患診療所)



休日・夜間急患診療所

都市建設常任委員会

熊谷市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例について

問

今回、この条例において、県の要綱と比べた場合、熊谷市独自の特徴があるのかどうか伺いたい。

答

近隣住民以外の周辺住民について説明を求めることができるという規定等は、県の要綱とは異なっている。基本的に県の要綱のスタンスは変えないものの、県内の状況を把握した上での条例案としている。(所管課・開発指導課)

会議録の閲覧について

市議会では、本会議の様態を記録した会議録を作成しています。12月定例会の会議録は、議会事務局、市役所情報公開コーナー、行政センター、図書館、市議会ホームページなどで3月上旬から閲覧できます。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

編集だより

ここに、市議会だより第十八号をお届けいたします。本号では、一般質問の要旨をはじめとする十二月定例会の概要等を紹介しました。

これからも市民の皆さんと市議会を結ぶ紙面づくりを目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見等をお寄せください。

議会報編集委員

- ◎松岡 兵衛 ○杉田 芳雄
松浦 紀一 泉 二良
小林 甚一 山田 忠之
新井 清次 高橋 初
三浦 和一 黒澤三千夫
(◎委員長 ○副委員長)

